

 事業者情報

代表者 永井 文仁

所在地 神奈川県中郡二宮町

WEBサイト

<https://www.instagram.com/nagaifumihito/>

NAGAIFUMIHITO

 事業の基本情報

事業名 視覚と身体で記憶を呼び起こす写真による地域再発見プロジェクト

実施地域 • 双葉町
• 浪江町

連携団体(予定) 合同会社いること

Point

空白の記憶を光で紡ぐ、福島12市町村への「cameratruck」による風景の詩

事業概要

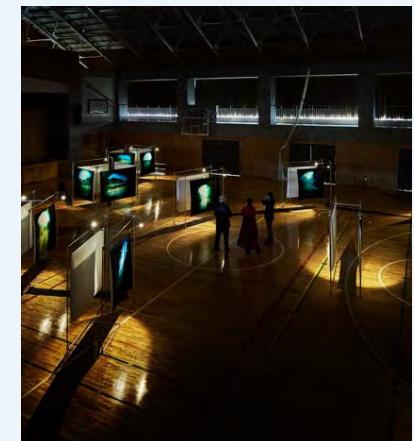
本事業は、東日本大震災および原発事故によって変化を強いられた地域の「記憶」と「風景」を写真表現で可視化・再発見することを目的とする。

2024年に葛尾村で延べ60日間滞在し、トラックの荷台を改造した内部に入れるカメラ「cameratruck」を用いて、大判印画紙に村の風景を直接写し取る作品『ひかりをすくう』を制作した。

葛尾村は物理的壊滅は免れたが原発事故により5年間無人となった地域で、穏やかでありながらどこか空白のような違和感のある風景が広がる。

この「空白の記憶」を視覚化するため、光の記録という独自技法を試みた。完成作品は超高解像度でデジタル写真を凌駕する臨場感を持ち、フレーミングのない丸い画面構成が身体的没入感と解釈の余地を残す。

今後は福島県内帰還困難区域12市町村へと展開し、2~3年をかけてプロジェクト全体を完成させ、制作地および国内外美術館での展示発表を目指す。



滞在制作型 No. 06 永井 文仁

■ 事業期間中の主なイベント（スケジュールは予定です）※正式な情報は各事業者もしくは事務局へ問合せください。

Event 1

1月17日(土) ▶ 1月18日(日)

制作した作品の発表とcameratruckの体験@浪江町

浪江町のオープンアトリエにて、滞在制作した作品の展示とワークショップを行う。（時間未定）

Event 2

2月7日(土) ▶ 2月8日(日)

制作した作品の発表とcameratruckの体験@双葉町

双葉町の東日本大震災・原子力災害伝承館にて、滞在制作した作品の展示とワークショップを行う。（時間未定）

■ 事業全体スケジュール（予定）※正式な情報は各事業者もしくは事務局へ問合せください。

2025年 8月

9月

10月

11月

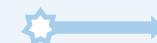
12月

2026年 1月

2月

制作した作品の発表と
cameratruckの体験
@浪江町

2026/1/17~18



2026/2/7~8

